nikko am
Nikko Asset Management

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第２期（決算日2024年７月８日）

作成対象期間（2023年７月11日～2024年７月８日）

第２期末（2024年７月８日）	
基準価額	20,390円
純資産総額	4,883百万円
第２期	
騰落率	66.2%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「Tracers S&P500ゴールドプラス」は、2024年７月８日に第２期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「インデックス マザーファンド 米国株式」受益証券に投資するとともに、米国の株価指数先物取引に係る権利および金先物取引に係る権利に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

＜645066＞

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
www.nikkoam.com/

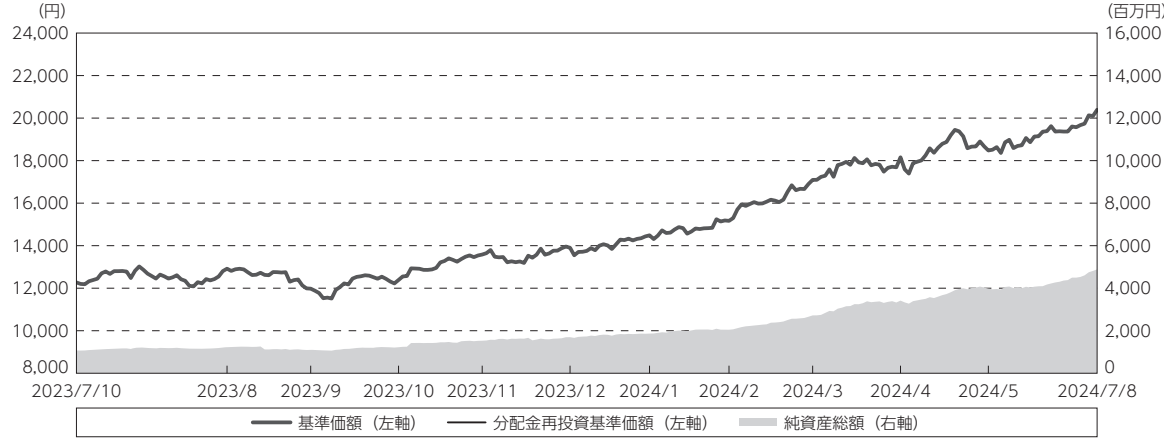
当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120－25－1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年7月11日～2024年7月8日)



期　首：12,271円
期　末：20,390円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：　66.2%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年7月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「インデックス マザーファンド 米国株式」受益証券に投資するとともに、この信託にて米国の株価指数先物取引に係る権利および金先物取引に係る権利に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・米国連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）において米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が2024年に利下げに転じるとの見方を示したこと。
・生成ＡＩ（人工知能）の活用の広がりからＡＩ関連の大手ハイテク企業などへの業績期待が高まったこと。
・金価格が上昇したこと。
・アメリカドルが対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞

・ＦＯＭＣの結果を受けて、米国の金融引き締め姿勢の長期化が意識され世界的に長期金利が上昇したこと（2023年10月中旬まで）。

１万口当たりの費用明細

（2023年7月11日～2024年7月8日）

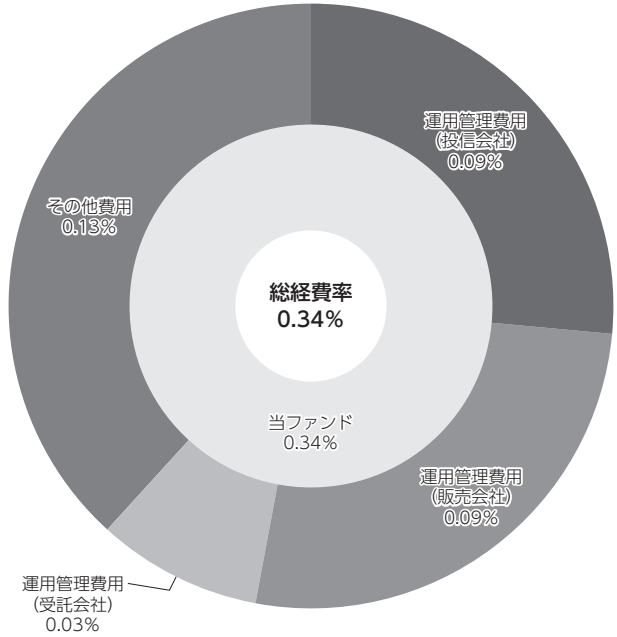
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	30	0.198	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(13)	(0.086)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(13)	(0.086)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(4)	(0.025)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.034	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(1)	(0.004)	
（投資信託証券）	(1)	(0.005)	
（先物・オプション）	(4)	(0.025)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	19	0.128	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用等）	(15)	(0.097)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合計	54	0.360	
期中の平均基準価額は、15,047円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

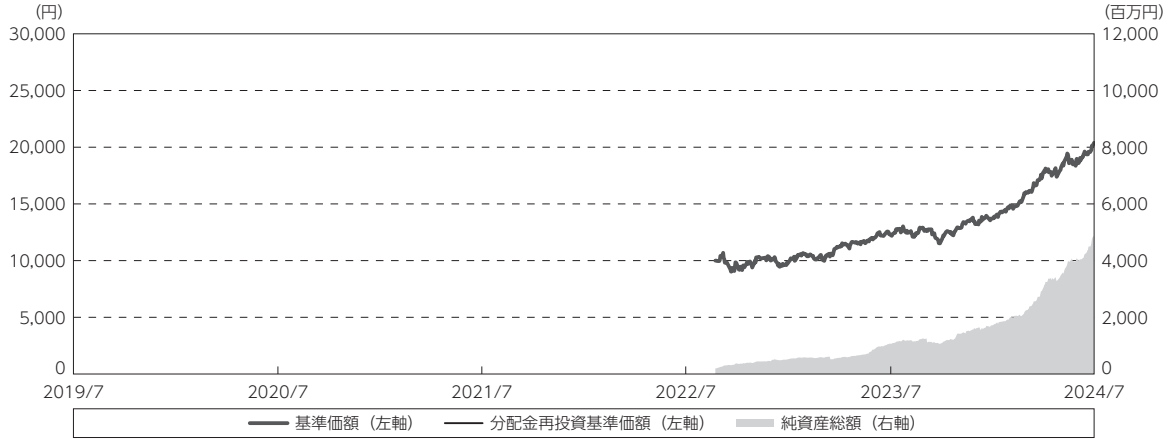
期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.34％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「１万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2019年7月8日～2024年7月8日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）当ファンドの設定日は2022年８月31日です。

	2022年８月31日 設定日	2023年７月10日 決算日	2024年７月８日 決算日
基準価額　(円)	10,000	12,271	20,390
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	－	22.7	66.2
純資産総額　(百万円)	200	1,071	4,883

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年７月10日の騰落率は設定当初との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2023年7月11日～2024年7月8日）

（米国株式市況）

米国株式市場では、株価は上昇しました。

期間の初めから2023年10月下旬にかけては、ＦＯＭＣの結果を受けて、米国の金融引き締めが長期化するとの見方が改めて広がり、欧米の長期金利が上昇したことや、イスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘激化による地政学的リスクの高まりなどが重しとなり、株価は下落しました。11月上旬から期間末にかけては、欧米の早期利下げ観測が後退する局面で欧米の長期金利が上昇したことや、イランがイスラエルを攻撃し中東情勢が緊迫化したことなどが株価の重しとなったものの、ＦＯＭＣにおいてＦＲＢが2024年に利下げに転じるとの見方を示したことや、生成ＡＩの活用の広がりからＡＩ関連の大手ハイテク企業などへの業績期待が高まったこと、欧州中央銀行（ＥＣＢ）総裁がＥＣＢ理事会後の記者会見で利下げを示唆したこと、米国の労働市場における需給のひっ迫が薄れたこと、米国の消費者物価指数（ＣＰＩ）が市場予想を下回ったことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

（金市況）

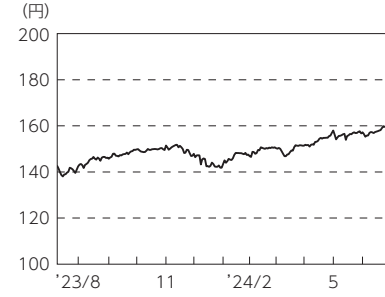
期間中の金地金市場では、アメリカドルベースの金価格は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2023年10月中旬にかけては、ＦＯＭＣの結果を受けて、米国の金融引き締め姿勢の長期化が意識され世界的に長期金利が上昇したことや、アメリカドルが主要通貨に対して堅調に推移しアメリカドルの代替投資先とされる金の相対的魅力が低下したことが金価格の重しとなったものの、中国人民銀行などの中央銀行の継続的な金への投資や、世界的なインフレ継続への懸念が警戒されたこと、ウクライナ情勢や中東情勢の悪化を受けて相対的に安全資産とされる金を買う動きが優勢となり、金価格は上昇しました。10月下旬から期間末にかけては、ＦＲＢ議長の発言を受けてＦＲＢが2024年に金融緩和に転じるとの見方が広がったことを背景に米国の長期金利が低下基調となったことや、これを受けたアメリカドルが下落傾向となったこと、ＥＣＢやカナダ銀行が利下げを実施したこと、イスラエルとイランの対立が深まるなか地政学的リスクの高まりが意識されたことが金への評価につながり、金価格は上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2023年7月11日～2024年7月8日)

(当ファンド)

当ファンドは、米国株式と金への分散投資において、それぞれ純資産総額と概ね同程度の投資を行ないました。

(インデックス マザーファンド 米国株式)

リスクコントロールモデルを使用し、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）および投資信託証券に投資し、ベンチマークである「S&P500指数（税引後配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

また、株式先物取引を利用し、実質の株式組入比率を高位に保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月11日～2024年7月8日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2023年7月11日～2024年7月8日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項　　目	第2期 2023年7月11日～ 2024年7月8日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10,390

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「インデックス マザーファンド 米国株式」受益証券に投資するとともに、米国の株価指数先物取引に係る権利および金先物取引に係る権利に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

（インデックス マザーファンド 米国株式）

引き続き、リスクコントロールモデルを使用し、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）および投資信託証券に投資し、ベンチマークである「S&P500指数（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行なう方針です。

また、株式先物取引を利用し、実質の株式組入比率を高位に保つ方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

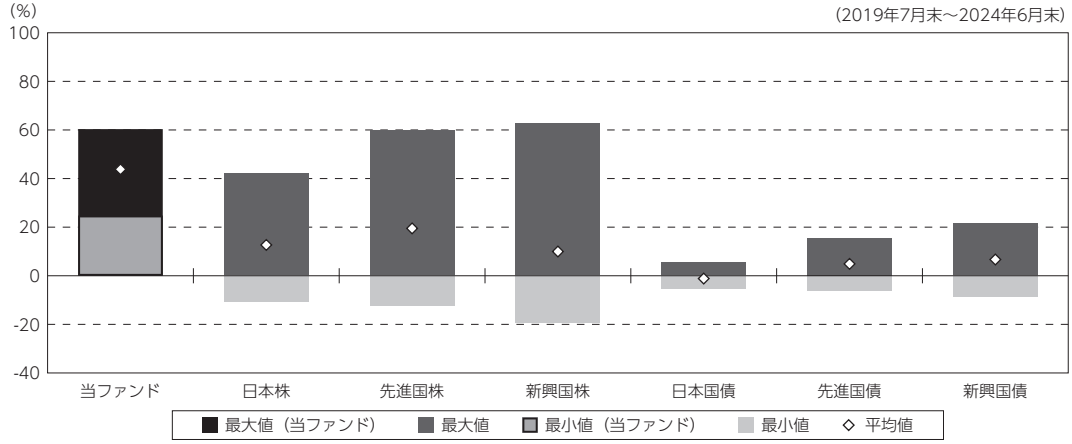
2023年７月11日から2024年７月８日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2022年8月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「インデックス マザーファンド 米国株式」受益証券に投資するとともに、この信託にて米国の株価指数先物取引に係る権利および金先物取引に係る権利に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	Tracers S&P500ゴールドプラス	「インデックス マザーファンド 米国株式」受益証券、米国の株価指数先物取引に係る権利および金先物取引に係る権利を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド 米国株式	米国の金融商品取引所に上場されている株式および投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、「インデックス マザーファンド 米国株式」受益証券に投資を行なうとともに、この信託にて米国の株価指数先物取引に係る権利および金先物取引に係る権利に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。マザーファンドを通じた株式への実質的な投資にあたっては、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式および投資信託証券に投資し、S&P500指数（税引後配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、マザーファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。運用にあたって、対象指数に採用されていない株式についても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されている株式の一部または全部の値動きに連動をめざす債券などに投資する場合もあります。投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、株価指数先物取引や外国為替予約取引などを活用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引などの買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引などの買建玉の時価総額の合計額が、マザーファンドの信託財産の純資産総額を超えることがあります。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.3	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	24.8	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	43.8	12.7	19.5	10.0	△ 1.2	4.9	6.7

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2019年７月から2024年６月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2023年８月以降の年間騰落率を用いております。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。**●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●NOMURA-BPI国債**は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。**●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。**●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年7月8日現在)

○組入上位10銘柄

	銘　柄　名	業種/種別等	通　貨	国(地域)	比率
					%
1	GOLD100	商品先物(買建)	アメリカドル	アメリカ	97.1
2	MICROSP	株式先物(買建)	アメリカドル	アメリカ	19.0
3	－	－	－	－	－
4	－	－	－	－	－
5	－	－	－	－	－
6	－	－	－	－	－
7	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		2銘柄			

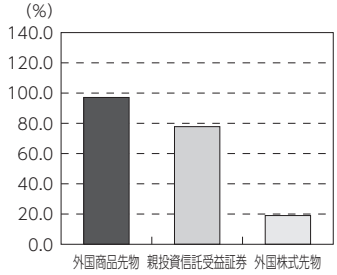
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

○組入上位ファンド

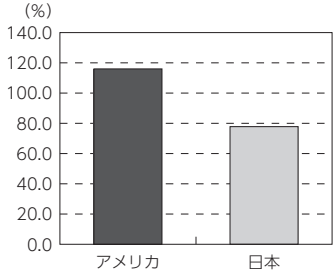
銘　柄　名	第2期末
	%
インデックス マザーファンド 米国株式	77.8
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

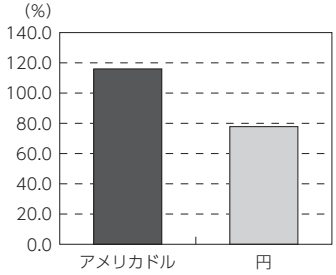
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項　　目	第２期末
	2024年７月８日
純資産総額	4,883,908,531円
受益権総口数	2,395,236,198口
１万口当たり基準価額	20,390円

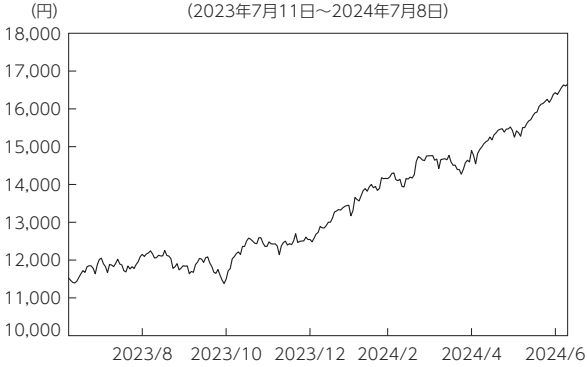
（注）期中における追加設定元本額は3,229,364,318円、同解約元本額は1,707,162,335円です。

組入上位ファンドの概要

インデックス マザーファンド 米国株式

【基準価額の推移】

(2023年7月11日～2024年7月8日)



【１万口当たりの費用明細】

(2023年7月11日～2024年7月8日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	2	0.012
(株式)	(1)	(0.005)
(投資信託証券)	(1)	(0.006)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(b) 有価証券取引税	0	0.000
(株式)	(0)	(0.000)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	4	0.032
(保管費用)	(4)	(0.032)
合計	6	0.044
期中の平均基準価額は、13,435円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

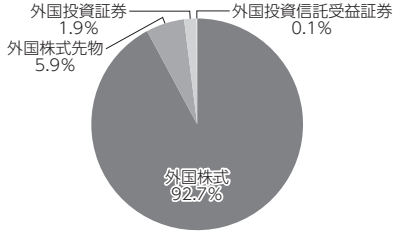
【組入上位10銘柄】

(2024年7月8日現在)

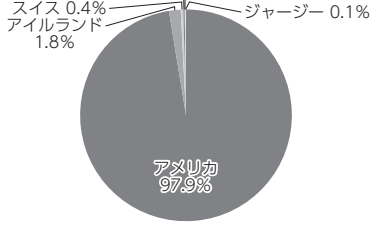
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	7.0
2	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	6.6
3	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	6.3
4	SP EMINI	株式先物(買建)	アメリカドル	アメリカ	5.9
5	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	3.7
6	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	2.4
7	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	2.3
8	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.9
9	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	1.5
10	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	1.5
組入銘柄数		505銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

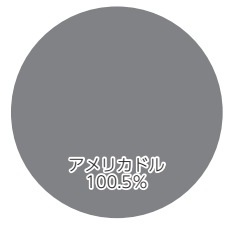
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。